



NEWS RELEASE



平成 27 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 ロングライフホールディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 遠藤 正一
(JASDAQ・コード：4355)
問合せ先 常務取締役管理本部長 瀧村 明泰
(TEL. 06-6373-9191)

株式新聞「明日を読む」欄に当社の記事が掲載されました

平成 27 年 1 月 9 日発行の株式新聞「明日を読む」欄に、当社の記事が掲載されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

概要

掲 載 日	平成 27 年 1 月 9 日 (金)
掲載紙面	株式新聞 (発行元 モーニングスター株式会社)
掲 載 欄	明日を読む
掲載内容	次頁参照

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

ロングライフホールディング株式会社 経営企画室

TEL. 06-6373-9191/FAX. 06-6373-9197

老人ホーム、在宅介護など順調

ロングライフホールディング(4355・JQ)は有料老人ホーム運営、在宅介護サービス、福祉用具事業など、介護事業を幅広く手掛ける。各事業が順調で、前10月期まで3期連続で増収増益を達成し、今期も引き続き増収増益ペースの見通した。株価面では着実な上昇トレンドが続いており、中・長期的にも注目だ。(梅村哲哉)

ロングライフ

着実な業績成長続く



月72・2%、7月73・2%、10月73・2%と、長期的に70%以上を維持している。契約者数の増加から利益率の改善も進み、前期の同事業のセグメント利益は2億9300万円、前々期比69・7%増と大幅に増加した。

また、第2の事業の柱となってきた在宅介護事業も収益性が改善し、前期のセグメント売上高は前々期比4・0%増だったにもかかわらず、利益は1億5000万円(前々期比2・6倍)と急拡大した。介護メニューとして

デイサービス、訪問介護、訪問入浴など147サービスをとりそろえ、1サービス当たりの収益性向上に注力した結果だ。

それ以外の福祉用具事業、老人ホーム向けに食事を提供するフード事業、調剤薬局事業など他事業も順調に推移したこと、前期の連結業績は売上高109億7400万円(前々期比5・1%増)、営業利益6億1300万円(同18・1%増)で、2ケタ増益となった。

一方、今年11月には大阪阿倍野区に新老人ホーム「ロングライフ阿倍野」を開設する予定で、今期から入居者募集に力を入れる構えだ。開設当初は同社老人ホーム全体の入居率低下につながる可能性もあるが、来期以降には徐々に収益に貢献してくると期待される。また、海外展開に積極的で、現在は中国、インドネシアにおいて日本の介護事業を推進し、将来的な成長要因として注目だ。

株価は業績成長を反映し、13年末から下値を切り上げる動きを継続している。14年11月26日に昨年来高値420円を付けてからは一服局面にあるが、調整一巡後には改めて高値をつかがう展開が見込めよう。

プランディング活動の強化から主力の老人ホーム事業が順調に推移し、同社老人ホームの2014年の入居率は4

今期に関しては、政府は今年4月、9年ぶりに介護報酬を引き下げる方針を示している。こうした逆風の中で、同社は今期、介護保険外のサー